



子どもたちの未来のために動き出そう

## カードゲーム「moritomirai (モリトミライ)」活動報告

カードゲームの詳細は右記の2次元コードからご覧ください。

15 種の豊かな暮らしを守ろう



楽しみながら森林について考えるオリジナルカードゲームを学校現場や企業研修、イベントなどさまざまな場面で活用していただき、森林へ関心を持ってもらうきっかけづくりをしています。これまでに23都府県で体験会を開催し、延べ10,000人以上がプレーしています。

山梨県内の学校などでも活用いただいています!

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGs(持続可能な開発目標)とは?

2015年の国連サミットで採択された国際目標で、「Sustainable(持続可能な)Development(開発)Goals(目標)」の略称です。「誰ひとり取り残さない」を基本理念とし、2030年までに環境破壊や人権侵害をなくし、すべての人が豊かに暮らす世界の実現を目指しています。「Goals」は貧困や飢餓の撲滅、地球環境の保全など17分野にわたり、より具体的な目標として169のターゲットが設けられています。

山梨県内でのSDGs実現を目指し、県内の企業や経済団体、大学などと山梨日日新聞社、山梨放送は「やまなしSDGsプロジェクト」を進めています。山梨日日新聞の紙面やYBS山梨放送の番組、イベントを通して多彩な情報を発信。森林の持続的な活用を目的としたメインアクション「moritomirai(モリトミライ)」では、具体的な取り組みを展開

しています。

2021年7月にスタートし、1年ごとに活動してきた同プロジェクトは第5シーズン目です。今季もSDGsの考え方の普及、浸透に一層努めるとともに、山梨の地域課題である森林の持続可能性に資する活動を行っていきます。

# 地域課題にアプローチする、メインアクション |モリトミライ| moritomirai

全国で10,000人以上が体験! 広がっています



2/6  
北杜市 長坂小学校5年生 57名  
堀内 陽仁さん

**感想** 社会でのお金の大切さや使い方、何を優先して仕事をすればよいかなど、いろいろと考えることができた。自分のことだけでなく、周りの人のことも考えることで、社会全体がよくなっていくことをカードゲームを通じて、学ぶことができた。

協力:NNS日本ネットワークサービス

2/6  
富士吉田市 下吉田第一小学校5・6年生 計26名  
横山 萌衣さん

**感想** 自然の大切さや環境問題の深刻さについて改めて知ることができた。森林の量のバランスをとることが難しく、多すぎても少なすぎてもいけないので大変だった。これからは自然や環境問題に目を向けて生活していきたい。

協力:エコチル調査甲信ユニットセンター

2/12 午前・午後で実施  
忍野村 忍野小学校5年生 計79名  
手塚 ゆずさん

**感想** 他のチームの仕事を理解し、助け合って目標を達成できた。学んだことをいかして森に関心を持って生活したい。

天野 颯真さん

**感想** 「整備森林」のメーターが増えすぎてしまったが、その他はクリアできた。植樹など森に関するイベントに参加してみたい。

協力:富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合(恩賜林組合)

2/13  
中央市 田富小学校5年生 50名  
近藤 蒼海さん

**感想** カードゲームを通して、みんなと協力することができ、ゴールを達成することができた。僕たちのような若い人たちが森への関心を高めていって、森の未来について、これからも考えていくことがとても大事だと分かった。

協力:エコチル調査甲信ユニットセンター

2/18  
富士河口湖町 富士豊茂小学校5・6年生 計11名  
石原 悠都さん

**感想** 森林がなかったら、僕たちがどれだけ苦労するだろうと想像すると、木に感謝したい。森の大切さをみんなに伝え、森を守り、豊かにしていきたいと思った。

協力:富士河口湖町農林課

2/27  
南アルプス市 八田小学校5年生 42名  
清水 莉奈さん

**感想** さまざまな役割があり、一人一人の行動によって森やまちのメーターが変化することを学んだ。その一つでも欠けると環境に影響が出ると分かり、環境を守るために今、自分たちにできることを進んでやろうと思った。

協力:NNS日本ネットワークサービス